

令和4年6月27日

教育を考え行動する委員会委員各位

中部経済同友会

教育を考え行動する委員会

委員長 九 鬼 綾 子

副委員長 久 保 統 義

副委員長 佐 久 真 一

副委員長 橋 本 渉

## 教育を考え行動する委員会のご案内

日頃は当委員会活動にご支援をいただき誠にありがとうございます。

この度、下記の通り委員会を開催いたしますので、委員の皆様にご案内申し上げます。当委員会では昨年度、活動報告書「感応豊かな人材を育てる Part 2～若者の可能性を育む社会の実現に向けた企業人・経済人の役割～」を発表し、本年度より新たに策定した行動指針・アクションプランに基づいた活動を開始いたしました。今回は、委員の皆様にお集まりいただき今後の委員会活動方針についてご説明するとともに、当委員会活動に多大なるご尽力をいただいているお二方をお招きして、当委員会活動の主な対象となる「若者」「教育現場」それぞれに焦点を当てたご講話を賜り、皆様と今後の活動の展開について考えたく存じます。

**先般の募集において新たに特任講師にご登録頂いた方やご登録をご検討中の方を含め、多くの委員の皆様から活発なご意見をいただきたく、ぜひご参加賜りますようお願い申し上げます。**

### 記

1. 日 時 8月23日(火) 9:30～11:30
2. 場 所 名古屋商工会議所 2階 ホール (名古屋市中区栄2-10-19)
3. 次 第 9:30～10:00 委員長挨拶・委員会活動説明  
(予定) 10:00～10:30 講演Ⅰ「学生気質の変化と若者のキャリア観」  
中京大学総合政策学部 教授・副学部長 坂 田 隆 文 氏  
10:30～11:00 講演Ⅱ「若者の可能性を育む公教育の在り方と我々社会ができること  
～教育現場の現状と課題～」  
株式会社さなる 最高顧問 杉 山 賢 純 氏  
(愛知県立旭丘高等学校 前校長)  
11:00～11:30 質疑応答・意見交換  
\* 講師のご略歴については次頁をご参照ください。
4. 会 費 無料
5. 定 員 25名(先着順、ご出席は当委員会委員ご本人様限りとさせていただきます。)
6. 申込方法 ご出席の場合は8月9日(火)までに会員専用ページよりご登録をお願いいたします。

ご参加いただく際は、マスクのご着用・手洗い、積極的なアルコール消毒の励行にご協力ください。  
体調不良の方は、ご参加をお控えいただきますようお願いいたします。

[本件問い合わせ先] 中部経済同友会事務局 菱川、山本、藤原 TEL: 052-221-8901

以 上

# 講師紹介

## [講演Ⅰ]

坂田隆文(さかた・たかふみ)氏 中京大学総合政策学部 教授・副学部長

2003年 神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了(博士・商学)。

中京大学大学院ビジネスイノベーション研究科兼任講師、放送大学・金城学院大学・名古屋市立大学・名古屋大学非常勤講師などを歴任し、現在、中京大学総合政策学部教授。研究分野は商品企画論、マーケティング論、流通論、小売業のビジネスモデル。主要著書に『1からのマーケティング・デザイン』(石井淳蔵・廣田章光との今日編著、碩学舎)、『1からの商品企画』(共著、碩学舎)などがある。

2016年より日本マーケティング学会理事。2021年度より科学技術振興機構(JST)「大学発 新産業創出プログラム(START) 大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」プログラム共同代表者。

2021年度 日本マーケティング学会 マーケティングカンファレンス2021 ベストポスター賞 受賞。

- ◆ 当委員会活動においては、平成23年度提言「感応豊かな人材を育てる」にはじまり、現在は新たな取り組み「若者と経営者とのダイアログ」においてご協力いただいております。

## [講演Ⅱ]

杉山賢純(すぎやま・まさずみ)氏 株式会社さなる 最高顧問  
愛知県立旭丘高等学校 前校長

東北大学卒業。1984年より愛知県の理科(化学)の教員として勤務。2002年より愛知県教育委員会教職員課管理主事、主査、主任主査を歴任。県立起工業高校、高蔵寺高校、豊田西高校、旭丘高校の各校長として高校内での教育改革を遂行。日本繊維工業教育研究会会長、西三北地区校長会会長、名北地区校長会会長を歴任し、長年愛知県公立高等学校長会理事を務める。18年から21年3月末まで旭丘高校校長を経て、株式会社さなる(佐鳴予備校)に入社。最高顧問に就任。

長年の教育現場での経験を生かし、公教育と民間教育との橋渡し役として、全国の高校生たちの真の学力向上・志望校合格を志す。

- ◆ 当委員会活動においては、昨年度発表した活動報告書の取り纏め、新たな行動指針・アクションプランの作成をはじめ、教育現場との連携に向けて多くのご助言をいただいております。